

小田原市教育委員会協議会会議録

- 1 日時 平成17年7月26日(火)午後8時20分～午後8時35分
場所 小田原市役所 全員協議会室

2 出席した教育委員の氏名

島田祐子
青木秀夫 (教育長)
桑原妙子
安藤實英 (教育委員長)
横田俊一郎 (教育委員長職務代理者)

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

学校教育部長	石嶋 襄
教育政策課長	杉崎 公
学校教育課長	椎野 美乃
学校教育課長補佐(学事)	青木 昭
学校教育課長補佐(指導)	佐宗 修二
(事務局)	
教育政策課教育政策担当主査	杉山 博之
教育政策課主査	田代 勝美

4 議事

(1) 報告事項

子どもとつくる夢プラン事業実施校の決定について (学校教育課)
土曜講座「おだわらっ子ワクワク学習教室」の実施について (学校教育課)

5 議事の概要

(1) 報告事項

子どもとつくる夢プラン事業実施校の決定について (学校教育課)

学校教育課長... それでは、報告事項「子どもとつくる夢プラン事業実施校の決定について」を説明申し上げます。本事業につきましては、児童・生徒のアイデアを生かした夢あるプランが実現できるよう、昨年度新規に予算化し、昨年度は、本教育委員会協議会において、各学校に配当する予算額を御協議いただいたものでございます。その後、その予算をもとに、児童・生徒のアイデアからさまざまな活動が繰り広げられ、大きな成果を収めることができたと考えております。今年度も、同様の趣旨で各学校が取り組んでいるところですが、予算が100万円になりましたので、予算の申請のあった小学校15校、中学校4校について、資料のとおり金額を決めさせていただきました。主なものをいくつかご紹介いたしますと、大窪小学校は、昨年作った「大窪ゆめひろば」にソーラー発電を利用して動くおもちゃを作ろうとする計画です。桜井小学校は、昨年つくった夢ロードに、看板やベンチを作ろうとするものです。また、前羽小学校も、昨年のトライルーム、チャンスルームに加え、今年度は、図書室とランチルームの整備を図ろうとするものです。また、橘中学校は、この3年間取り組んできたエネルギー教育・環境教育の一環として、「ピオトープ」を作ろうと計画しています。限られた予算ではございますが、各学校が工夫して取り組んでいくこととなりますので、スクールミーティング等の場でも、話題にしていきたいと思います。

横田委員 ...評価の などについて、どのように評価したのですか。

学校教育課長...平成16年度の活動を見て、子どもたちを中心に非常に良い活動が繰り広げられているものを土台としています。そこから夢を広げるプランについては、良い評価をしています。橘中は、昨年度のものがベースになっておりませんが、3年間取り組んでいる環境教育やエネルギー教育をベースに行っていますので、ある程度土台ができた上に更に夢を広げていこうという点が良い評価に繋がり、予算額も多少ですが、上乘せしてあります。

土曜講座「おだわらっ子ワクワク学習教室」の実施について (学校教育課)

学校教育課長... それでは、「土曜講座・おだわらっ子ワクワク学習教室」について御説明

申し上げます。市内の児童・生徒の学力向上を目指して、今までも、学習実態調査の実施、補助教材作成、学習指導法研修会、おもしろ国語・算数・数学教室の開催等に取り組んできましたが、今年度新たに「土曜講座・おだわらっ子ワクワク学習教室」を実施いたします。資料にございますように、9月・10月の2ヶ月間にわたる土曜日の午前中（6回）に、小学校5年生、中学校2年生を対象として、小学生に国語・算数、中学生に国語・数学・英語の学習教室を開催します。基礎的・基本的な学習の向上を図ると共に、主体的に学ぶ機会を充実し、学習意欲を高めることをねらいとしております。現在、講師と児童・生徒の募集をしておりますが、今のところ、講師が各教科3～4名、小学生が20名を越え、中学生が10名程です。今後、講師陣で打ち合わせをし、9月に臨みたいと考えております。

安藤委員長 ...基礎的・基本的な学習の向上を図る本来のねらいの子は多分集まらず、学習意欲のある子、つまり、できる子が集まり、本来のねらいとは、うらはらになりませんか。

学校教育課長...市からの投げかけとしては、基礎的・基本的なこと、苦手な復習したいという文言を使っていますので、もう少し学習の機会が欲しいなという子どもを中心に考えております。とは言いましても、実際、応募状況を見てみないと分からないところはございます。

横田委員 ...学習意欲のある子ということは、塾へ行っている子とか申し込んで来るかもしれませんね。

学校教育課長...学校で担任の先生が募集案内を配る時に、配るだけではなくて、とても良いよという宣伝を必ずしながら配るようお願いしており、また、行った方が良いと思われる子には、内々に個人的に声をかけてもらえると良いですね、ということは校長先生を通してお願いしてあります。

桑原委員 ...20名ですから、どのへんの子を対象としているかが難しいですね。

学校教育課長...苦手な、もうちょっと学習して欲しいなという子を少し手助けして、あくまでも復習を中心に考えております。

安藤委員長 ...鉄は早いうちに打てとありますように、中2で実施するよりは、中1で実施した方がいいのではありませんか。

学校教育課長...県の学習状況調査と市の学習実態調査で、中1・2年生、小4・5年生とばらつきがあります。補助教材を小3・4・5・6年生で作成していますが、対象学年を市として総合的に考えた際に、中学生では、1年では意欲が持続していますが、2年の夏を過ぎたあたりでだいぶ個別対応が必要となるであろうこと、それから小学生でも、4・5年生で塾に行き始めるとすれば、そのあたりでもう少し学習の場があり、個別対応ができると勉強が面白くなり、好きになるかなという考え方にに基づき、対象学年を小学校5年生と中学校2年生したものであります。

安藤委員長 ...このような講座をやることは良いことですが、塾に行っている子とか、意欲がなくて転びかけている子とか、どういった子どもたちが応募してくるか応募状況を見てみないと分からないですね。

学校教育課長...呼びかけはやっていますが、蓋を開けてみないと確かに分からないですね。

安藤委員長 ...学力に差がある子が集まってきたら、どのようにする予定ですか。

学校教育課長...基本は20人1クラスで、中心となる教師1人に補助者を数人予定しています。個別な指導が必要な子にはそれに応じた指導をします。

安藤委員長 ...あまりないとは思いますが、仮に100人応募してきたら、選考や抽選等を予定していますか。

桑原委員 ...資料に「希望者多数の場合、抽選により」とありますね。

安藤委員長 ...手探りで進めていきながらですね。

島田委員 ...親としては、無料というところもありがたいですね。

学校教育課長...できるだけ誠意をもって進めていきたいと考えています。

横田委員 ...初めてですから、まずやってみることが大事なことです。